

2022年度事業報告書

I 概況

1. 来館者

2022年度は依然新型コロナウイルスの影響が残ったものの、野球界はコロナ禍前に戻りつつあり、ファンにとって野球を楽しめる状況になりました。

また、野球伝来150年という節目の年でもあり、NPBとBFJが中心となってさまざまな記念事業が行われましたが、当館も積極的に協力し「聖地・名所150選」の事業では運営に参画いたしました。

3月に開催されたWBCでは、侍ジャパンの優勝が野球ファンのみならず、多くの国民を巻き込んだ一大ブームとなりました。当館での優勝トロフィー展示は、5日間で1万5千人以上のお客様が来館する盛況となりました。

さて、当館の活動ですが、NPBとのコラボレーション企画「野球の学校」を開校し、西武、巨人で活躍した片岡保幸さんを講師にしたイベントや、小学生向けの「野球で自由研究」でのイベント各種、年末には「野球伝来150年記念シンポジウム」と銘打ち講演会、パネルディスカッションなどを開催し、野球の普及・振興に努めました。

来館者数は、ほぼ予算通り推移していた中、3月のWBC関連展示が盛況だったこともあり、予算上の目標値である7万人を大幅に上回る84,085人となりました。なお、6月には開館以来の通算来館者数600万人を達成しております。

2. 維持会員

維持会員は、法人64社（前年比1社減）、個人167人（前年比7人増）、ジュニア4人（前年同数）となりました。2023年度より維持会員制度の刷新を行ないますので、さらに加入を促進し、ファン拡大に努めて参ります。

3. 野球殿堂

特別表彰の故・松前重義氏の表彰式は、6月12日明治神宮野球場で行なわれた全日本大学野球選手権大会の決勝戦開始前に行いました。

また、競技者表彰の高津臣吾氏、山本昌広氏の表彰式は、7月26日福岡PayPayドームで開催されたプロ野球オールスターゲーム第1戦の試合開始前に行いました。

2023年の殿堂入りですが、第63回競技者表彰委員会からアレックス・ラミレス氏、ランディ・バース氏、第62回特別表彰委員会から故・古関裕而氏が選出されました。これにより、殿堂入り顕彰者は、競技者表彰103名、特別表彰112名で合計215名となりました。

4. 普及・広報活動

野球伝来150年やWBCでの日本代表の活躍などで、職員によるコラムの執筆、当館や野球関連の話題を紹介する取材、番組の撮影などの依頼が多数ありました。それらへの多くに対応し野球の普及、当館の認知度アップに努めました。

5. 資料収集

博物館、図書室の基礎ともなる展示資料及び図書資料の収集を積極的に行いました。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

①収集資料： 471点(前年658点)

②収集図書:2,414冊(前年1,100冊)

なお、資料収集に際しては、将来に何を残すかを組織的かつ円滑に行うために、「収集資料検討委員会」(原則、毎月1回開催)において協議し決定しております。

6. その他

受付エリアの位置変更、展示エリアのモニター増設・更新、完全試合・三冠王コーナーのグラフィック更新、球団変遷図のリニューアルなどを行ないお客様へのサービス向上を図りました。